しゅっぽっぽ便り　No.１　2021年（令和3年）5月27日発行：若桜線SL遺産保存会
（やずミニSL博物館指定管理者）

しゅっぽっぽ便り

～創刊号～

【コンテンツ】
○博物館紹介
○ぷりぐらとコラボ
○紹介コーナー

鉄道コレクターの夢　～つながる想い～

若桜線ＳＬ遺産保存会の名誉顧問の故・中村仙一郎氏（享年９７歳）は、昭和の戦争を経験される等波乱万丈の人生を送られた方で、家業を退いた際、憧れであった蒸気機関車に携わりたいとミニＳＬの制作・コレクターになりました。氏は、制作中心の活動でしたが、保存会との出会いにより制作したミニＳＬが実際に稼働することを体験し大いに感動されたものです。この貴重なコレクションのミニＳＬを活かしてほしいと八頭町に寄贈され、平成29年４月に「やずミニＳＬ博物館」（やずぽっぽ）が開館しました。

博物館では、氏から寄贈を受けた１５両のミニＳＬに加え、鳥取市内の斧谷氏・牛尾氏、兵庫県在住の江幡氏から寄贈された各１両と計１８両が展示公開されています。一部車両は、ミニＳＬ体験の機動車両として稼働しています。「観て楽しい、触って嬉しい、乗って楽しい」の三拍子そろった展示をしていますので、是非、遊びに来てください。

在りし日の
故中村仙一郎さん

“ぐりぷら”とコラボレーション

今年のゴールデンウィークは、「ぐりぷら」（倉吉在住、真壁代表）の鉄道おもちゃとミニＳＬ（蒸気機関車）とのコラボレーション展示を実施しました。鉄道おもちゃによる若桜鉄道のジオラマは、本線さながらの駅舎や施設を忠実に再現し、ＳＬを走行させるという沿線住民の夢を提供する粋な計らいも。立体展示（１８段）では山陰本線では走行していない新幹線が走行し、Ｃ11形・Ｃ12形・Ｄ51形蒸気機関車と鉄道おもちゃの同時展示を行い楽しい共演展示でした。多くの親子連れに楽しんでいただき大いに賑わいました。

ミニＳＬ機関士紹介

林　機関士

小原　機関士

ここでは、博物館の特徴であるミニＳＬ体験乗車の専任機関士を紹介します。今回は二十代の若手２名です。

林　祥伍さん
地元八頭町在住、ミニＳＬ機関士養成講座修了生です。

小原　裕司さん
鳥取大学工学部に在学中の学生機関士です。

やずミニＳＬ博物館（やずぽっぽ）
〒680-0408 鳥取県八頭郡八頭町西谷　竹林公園内
TEL：0858-71-0032　　FAX：0858-71-0432
E-mail：yazuminisl@yahoo.co.jp

開館時期：3月1日から11月30日
開館時間：10時から15時（土日・祝日は16時迄）
乗車体験は10時から15時まで
入 館 料：高校生以上200円、乗車体験料100円/回